

第1回 特別職報酬等審議会会議録（要旨）

[日 時] 平成30年10月2日（火）午後5時35分～午後6時43分

[場 所] 府中市役所 北庁舎 第1・2会議室

[出席者] 委 員（五十音順・敬称略）

井上 郁子、近藤 愛、志水 清隆、高野 佳子、長崎 益治、
濱中 重美、丸山 悦子

事務局等

高野市長、遠藤政策総務部長、赤岩職員課長、菅職員課長補佐、
伊藤人事係長、川越主任、大山主任

[会議経過]

1 開 会 政策総務部長の司会により開会。

2 委嘱状交付 各委員に委嘱状を交付。

司会より任期等の説明を行う。

3 市長挨拶 市長より挨拶。

4 委員紹介 各委員紹介（五十音順）。

5 事務局紹介 職員自己紹介。

6 会長・会長代理選出

司会から、会長は委員の互選、会長代理は会長の指名により選任
する旨の説明を行う。

会長に濱中委員を推薦する声あり。（全員賛成）

（会長挨拶）

会長が、会長代理に高野委員を指名。

（会長代理挨拶）

7 諮 問 市長が諮問文を朗読し、会長に渡す。

（市長退席）

----- 以降の議事進行は、会長により進められる。 -----

8 議 題

(1) 会議の公開、会議録の公表

事務局（職員課長）より、府中市情報公開条例の規定に基づく本審議の会議の
公開及び会議録の公表について説明があった。会長が事務局の説明

を受け各委員に意見を求め、事務局の説明のとおり本審議会の会議については公開、会議録については要旨を公開することとなった。

(2) 会議方法・日程

事務局（職員課長）より、これまでの会議方法・日程について説明があった。会議方法・日程について協議し、以下の事項について確認した。

- ・会議方法は、これまで同様に全体会議と小委員会（会長・会長代理）により行うこと。
- ・審議の状況にもよるが、全体会議を4回程度、小委員会を1回開催すること。
- ・今後の全体会議の日程。

第2回 平成30年10月26日（金）午後5時30分

第3回 平成30年11月9日（金）午後5時30分

第4回 平成30年11月27日（火）午後5時30分

(3) 資料説明

事務局（職員課長補佐）より資料説明があった。

<各委員からの質問等>

別紙「質疑・意見等（要旨）」参照

(4) その他

事務局（人事係長）より、報酬の支払い方法、本審議会委員の名前等を広報ふちゅう10月21日に掲載をすることなどの説明があった。

また、審議会への意見、追加資料等の要望、欠席等の連絡は、事前に事務局まで連絡をお願いしたい旨の依頼があった。

資料説明への質問について

- （委員） 他市・類似団体との比較、これまでの変更の推移及び物価指数等の推移が今後の論議になると思われます。加えて前回の諮問に対する答申の中で、今後論議すべき内容も付記されていたのではないかと思いますので、今回の審議にあたって、その部分も加えて論議すべきかと思われます。
- （事務局） 2年前の審議会においては、引き上げが適当ではないかとの意見もいただいております。具体的には、市長、議長の働きぶり、対外的役職の多さ、23区との比較などから引き上げてもいいのではないかという意見です。最終的には、この2年間の景気回復による賃金の上昇は実生活で感じられなかったため、現時点では引き上げには至らないのではないかという意見や、職員の給料について大きな変動がなかったことなどから、据え置くことが妥当であるという結論に至っております。今後においては、そのような点も踏まえて、検討する必要があるのではないかとの意見もいただいていたと認識しております。
- （委員） 参考資料として前回の答申を出すことは可能でしょうか。
- （事務局） 公開資料になっておりますので、問題ございません。ご用意させていただきます。
- （委員） 資料4ページの「府中市の財政状況」の平成28年度と平成29年度の自主財源の「財政収入・その他」を比較しますと大きくプラスになっているところがあるので、これはどのようなことで財源が増えたのか疑問に思ったのですが、何か分かりますか。
- （事務局） 確認の上、改めてお答えいたします。
- （委員） 平成30年度の予算額が見られた方がいいかと思いますが、資料はありますか。
- （事務局） 平成30年度の予算額でございますが、一般会計の当初予算は955億9千万円でございます。平成29年度と比較しますと伸び率で8.6%の減という状況でございます。
- （委員） これからの報酬を決めるため、何が増えて、何が減って、どのように

してそうなったのかというのが、過去の結果よりもこれからのお話をお聞きした方がイメージしやすいと思いますので、資料と説明を伺えればと思います。

(事務局) 平成30年度予算の特徴的なもの、それから編成の状況が分かるものを資料として次回お示しさせていただきたいと存じます。

(委員) 資料6の府中市職員の給料ですが、年々下降していますが、職員の40歳平均または35歳平均くらいですか。

(事務局) 全職員の平均です。例えば平成28年度と平成29年度を比較していただくと下がっていますが、改定率は0.00となっています。つまり、それだけ若い職員が入ってきて平均年齢が下がっているという解釈になります。改定率がマイナスの部分は、いわゆるリーマンショックがあって給料そのものが下がったという経緯ですが、近年のところは、そのような理由になります。

(委員) 資料6について民間のところを見ると下がっていますが、おそらく団塊の世代がこの10年弱でピークで抜けているため、年齢層は、全体平均でこのように出るとおっしゃっていました。ただ数字だけ追ってしまうと、賃金が下がっているような見え方をしますが、民間のところを見ていただいても賃上げ率の上げ幅が減っているため、このデータを取扱う時はシビアに扱っていただきたいという感想です。

もう1点は、2年前に議員の報酬が論議になったと思いますが、市長と議員を比べた場合、市長よりも議員の活動が見えにくいといったような論議をしたと記憶しております。それに対して、この2年間で見せ方と申しますか、どのような活動をしているかが見えるような形を努力すべきだと論議をしたと思っています。今回論議するにあたって、改善した部分があれば、今後紹介していただいた方が、論議の材料の一つになると思います。

(事務局) 資料等整理しまして、お示しできればと存じます。